

5つのプロジェクト事業化スケジュール（案）

5つのプロジェクト・主要施策		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	検討メンバー案
全体	各部会間の連絡会議	適宜開催					・協議会委員 ・その他関係者
①道の駅再生	1)道の駅リニューアル	改修計画の検討・県へ要望	整備(県・市)				・美馬市 ・観光協会 ・町並み保存会 等
	2)町並み地区の回遊性向上	サイン・舗装計画の検討	整備(市)		運営開始		
	3)舟着場公園の再整備	意見交換・改修計画の検討	道の駅リニューアルとの調整、整備(市)				
②うだつ食づくり	1)「藍蔵」「情報S」リニューアル	改修計画の検討	整備		運営開始		・ふるさとわかまち ・観光協会 ・美馬市 ・地域おこし協力隊 ・地区内の飲食店 ・商工会 ・観光ツアー会社 ・四国大学 等
	2)「予約制テイクアウト」体制の展開	試行・改善			改善等の継続		
	3)うだつの食の開発・研究				開発・研究の継続		
③うだつモデル	1)うだつモデルパイロット事業(2軒)	誘致候補企業との調整	改修		運営開始		・地区内起業家 ・誘致企業 ・美馬市 等
	2)貸店舗誘致アクション	導入機能の検討			誘致アクション		
	3)新規空き家・市全体での展開				10年で10軒を目標に継続展開		
④うだつの宿	1)うだつの宿パイロット事業(2軒)	空き家の選定・建物詳細調査	改修		運営開始		・美馬市 ・観光協会 ・商工会 ・自治会 ・徳島銀行 ・阿波銀行 ・地域おこし協力隊 ・四国大学 ・町並み保存会 等
	2)新規空き家・市全体での展開				10年で5軒を目標に継続展開		
	3)図書館の活用検討	準備委員会の設立・方向性	改修検討・実施		運営開始		
⑤イベント・体験展開	1)阿波踊りの活性化	試行・改善			継続実施・改善		・商工会 ・観光協会 ・美馬市 ・自治会 ・地域おこし協力隊 ・美馬和傘製作集団 ・教育委員会 ・地元企業 ・高校、四国大学 等
	2)団体向け体験活動の展開(藍染、竹工品、和傘)	試行・改善			継続実施・改善		
	3)既存及び新規イベント・体験活動の展開				企画・検討、継続実施・改善		

発行
平成28年5月

うだつの町並み再生戦略策定協議会事務局
美馬市役所 経済建設部 商工観光課 TEL0883-52-5610

うだつの町並み再生戦略を策定しました！

- ・美馬市協町の「うだつの町並み」は県下有数の観光スポットですが、観光客の減少が続いている他、空き家・空き店舗の増加、町並みボランティアガイドの高齢化・後継者不足などの様々な課題を抱えています。
- ・こうした課題の克服を、地域と協働して取り組んでいくために、商工会や観光協会、町並み保存会、住民の代表ら19人で行う「うだつの町並み再生戦略策定協議会」を設置し、全3回の会議での意見交換と各委員等へのヒアリングを通じて、町並み地区の活性化に向けた「うだつの町並み再生戦略」を策定しました。
- ・この戦略では、特に重点的かつ早期に取り組んでいくものとして、5つのプロジェクトをとりまとめ、平成28年度から、地域住民・関係団体・行政が一体となって、実践していくこととしています。地域住民の皆様、関係者の皆様、ご協力よろしくお願いします。



うだつの町並みの様子

【再生戦略の役割】

- ①うだつの町並み地区の活性化に向けた**基本構想**
- ②関係者間の連携、資源間の連携、個々の取り組み、ソフトの展開に向けた**共通指針**
- ③地区内の空き家・空き店舗の利活用に向けた**基本計画**

取り組みの視点

- ◎できることから始める
- ◎まちづくりを楽しむ
- ◎地域のみんを巻き込む
- ◎みんなで知恵を絞る
- ◎個々の共存・共栄を基本とする
- ◎ソフトづくり・維持管理は地域が主体で取り組む

これまでの検討経緯と策定協議会メンバー

■計画の検討経緯

第1回協議会（平成28年2月3日）

関係者ヒアリング（平成28年2月23日,24日）

第2回協議会（平成28年3月9日）

第3回協議会（平成28年3月22日）

うだつの町並み再生戦略の策定



第3回協議会の様子

■うだつの町並み再生戦略策定協議会 委員名簿（順不同）

氏名	役職	組織等
尾形 英雄	会長	美馬市観光協会
甘利 稔	副会長	南町町並み保存会
野崎 範雄	委員	落久保自治会
小田 直人	委員	突抜町自治会
甚川 一二	委員	落久保自治会
藤川 一郎	委員	ふるさとわかまち株式会社
蔭山 泰章	委員	美馬市商工会
正木 文子	委員	うだつの町並みボランティアガイド連絡会
田村 俊明	委員	(株)阿波銀行
富本 良治	委員	(株)徳島銀行
藤澤 英文	委員	竹人形の里 時代屋
喜多 とくえ	委員	CAFE角屋
藤本 順子	委員	お茶処 茶里庵
田村 圭介	委員	フナト
柴田 義帆	委員	のどけや
菜原 孝司	委員	徳島県西部総合県民局 企画振興部
藤本 卓志	委員	美馬市 ふるさと振興課
緒方 義和	委員	美馬市 文化・スポーツ課
山田 一弘	委員	美馬市 商工観光課

うだつの町並み再生戦略：5つのプロジェクト別展開（案）

①道の駅再生プロジェクト

●道の駅のリニューアル

- ・駐車場、植栽帯等の再配置、照明の追加（施設管理者である県へ要望提案）

●町並み地区の回遊性の向上

- ・地域交流センター（仮称）から、うだつの町並みへの動線確保
- ・町並み景観と調和したサイン整備、Wi-Fiの設置、自然色舗装の再整備
- ・地域交流センター（仮称）を含め、町並み地区全体を道の駅化



照明の整備



案内MAPの整備

●舟着場公園の再整備

- ・桜の植栽等による憩いの空間づくり
- ・舟着場の歴史性が感じられる空間づくり
- ・駐車場から町並みに向けたスロープの拡幅



舗装整備箇所 総合案内板 誘導板

②うだつ食づくりプロジェクト

●「藍蔵」「情報S」リニューアル

- ・「藍蔵」のリニューアルによる「食の提供」空間づくり
- ・誰もが気軽に立ち寄り、食事ができる環境づくり
- ・「藍蔵」1階の土産物店を「情報S」に移転

●「予約制テイクアウト」体制の展開

- ・地域内飲食店の協働での「予約制テイクアウト」体制による団体客への食事の提供（藍蔵2Fを活用）

●うだつの食の開発・研究

- ・テイクアウトメニューと併せた地区全体での検討



「藍蔵」のリニューアルによる「食の拠点」づくり

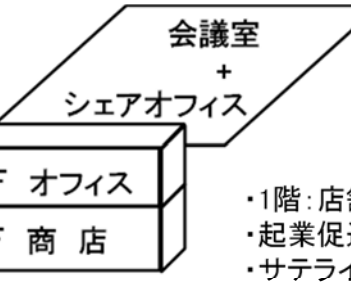


「情報S」1階の土産物店化 うだつ特有の土産物の提供



③うだつモデルプロジェクト

●「うだつモデル」パイロット事業 ●新規空き家・市全体での展開



●貸店舗誘致アクション

- ・導入機能店舗の検討、誘致
- ・導入日常生活機能の検討、誘致

商店が増え、仕事をする場所として町並みが活用されることが重要！

- ・1階：店舗、2階：シェアオフィス
- ・起業促進、移住促進
- ・サテライトオフィス誘致（SO）

- ・1Fに商店を構えることで町並みに賑わいを創出
- ・物件のシェアにより各々のランニングコスト削減
- ・2Fシェアオフィスに入る人たちは町並みの顧客となる
- ・シェアオフィス企業がハブとなり県外の方の来訪者が増加
- ・シェアオフィスに貸しオフィススペースを作る
- ・地元と外部を繋ぐ仕掛けを街中に作る

- ⇒ 空き家・空き店舗活用/起業促進
- ⇒ 空き家・空き店舗活用/起業促進
- ⇒ 商店街活性化
- ⇒ 商店街活性化/SO誘致
- ⇒ SO誘致/移住促進
- ⇒ 商店街活性化/ショールーム

④うだつの宿プロジェクト

●パイロット事業の実施 ●新規空き家・市全体での展開

- ・空き家の活用による宿泊施設（高級路線）の整備



- ・高齢者層や家族での利用をターゲットとした古民家を体感できる高級路線の宿を提供

●図書館の活用検討

- ・準備委員会を設置し方向性を検討



- ・簡易宿泊、日常生活機能、地区共通の銭湯などの機能を導入

⑤イベント・体験展開プロジェクト

●阿波踊りの活性化

- ・町並み地区内での阿波踊りの復活に向け、関係者と地域の協働による企画、試行、継続
- ・市内企業、脇町高校や四国大学の学生など、参加連の増加を促進



●団体向け体験活動の展開（藍染、竹工品、和傘）

- ・観光文化資料館を活用し、小学生等の団体に対応した体験活動の拠点を形成、限られた体験施設が連携し大人数を分散させるなど、体験活動をパッケージ化して展開



藍染



竹工品



和傘

●既存及び新規イベント・体験活動の展開

- ・ひなまつり、うだつまつり等の既存イベントの充実
- ・町並みを活かしたマルシェの開催、歴史・ロマン体験の演出など